

医業経営情報

REPORT

Available Information Report for Corporate Management

2019

4

医業経営

2018年決算データからみる 医科診療所経営実績分析

- 2018年 経営実績とその傾向
- 2018年 収入上位診療所の経営実績
- 2018年 診療科目別経営実績
- 2018年 医療法人経営指標分析結果

1 | 2018年 経営実績とその傾向

1 2018年経営実績の概要

経営実数分析は、2018年の決算書に基づいて実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している2017年との比較を通じ、前年実績との改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、2019年3月までに決算を終えた無床診療所352件（医療法人231件、個人開業121件）の主要科目について、平均値を算出しています。なお本分析では人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2017年	2018年	前年対比（%）
I 医業収入	124,292	125,452	100.9%
1. 保険診療収入	105,891	106,713	100.8%
2. 保険外診療収入	16,482	16,860	102.3%
3. その他の医業収入	1,919	1,879	97.9%
II 変動費	24,561	24,763	100.8%
1. 医薬品・診療材料費	21,328	21,490	100.8%
2. 検査委託費	3,233	3,273	101.2%
III 限界利益	99,731	100,689	101.0%
IV 医業費用	45,898	46,804	102.0%
1. 人件費	16,806	17,415	103.6%
2. 減価償却費	5,107	5,028	98.5%
3. 地代・家賃	6,663	6,593	98.9%
4. 研究研修費	280	286	102.1%
5. 保険料	3,208	3,334	103.9%
6. 接待交際費	1,159	1,165	100.5%
7. その他経費	12,675	12,983	102.4%
V 医業利益	53,833	53,885	100.1%

2 全体動向と利益の傾向

(1) 全体動向

2018年における医科診療所の経営実績は、2017年と比較して増収増益となりました。

今回の調査では、黒字診療所は全体の77.3%を占めています。

医業収入は0.9%、うち保険診療収入は0.8%の増加で、変動費は0.8%の増加となりました。限界利益は1.0%の増加、また医業費用が2.0%の増加となりましたが、結果的に医業利益は0.1%の微増となりました。

医業収入・費用等全体の傾向

● 医業収入

前年対比0.9%増加し、金額にして1,160千円の増収となりました。

保険診療収入、保険外診療収入は増加しましたが、その他の医業収入は減少しています。

● 変動費

変動費は前年対比0.8%の増加で、医薬品・診療材料費が同0.8%の増加で、検査委託費が1.2%の増加となりました。

● 医業費用

前年対比2.0%増加し、役員報酬と専従者給与を除いた人件費は、3.6%増加しています。

その他固定費は、前年対比1.0%の増加となりました。

● 医業利益

2018年の平均医業利益は53,885千円で、前年対比0.1%、金額にして52千円の微増という結果でした。

(2) 利益状況

限界利益、医業利益、どちらも増加となりました。

限界利益は前年対比1.0%、医業利益が同0.1%の増加という結果でした。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
限界利益	99,731	100,689	101.0%
医業利益	53,833	53,885	100.1%

3 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では前年対比 100.9%で、僅かながら増加しました。うち保険診療収入は 0.8%の増加、保険外診療収入は 2.3%の増加となりましたが、その他医業収入は 2.1%減少しました。

■ 医業収入

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入合計	124,292	125,452	100.9%
保険診療収入	105,891	106,713	100.8%
保険外診療収入	16,482	16,860	102.3%
その他医業収入	1,919	1,879	97.9%

■ 医業収入分析

金額で見ると、保険診療収入は 822 千円、保険外診療は 378 千円の増加、その他の医業収入は 40 千円の減少となっています。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。

変動費は 0.8%の増加となり、人件費は 3.6%の増加、その他固定費は 1.0%の増加となりました。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
変動費合計	24,561	24,763	100.8%
変動費率	19.8%	19.7%	△0.1%
医薬品・診療材料費	21,328	21,490	100.8%
検査委託費	3,233	3,273	101.2%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
人件費合計	16,806	17,415	103.6%
(参考) 役員報酬	37,798	38,285	101.3%
(参考) 専従者給与	5,625	5,675	100.9%

③その他固定費

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
その他固定費合計	29,092	29,389	101.0%
減価償却費	5,107	5,028	98.5%
地代・家賃	6,663	6,593	98.9%
研究研修費	280	286	102.1%
保険料	3,208	3,334	103.9%
接待交際費	1,159	1,165	100.5%
その他経費	12,675	12,983	102.4%

(2) 医業費用の傾向

●変動費

2018年全体平均で24,763千円となり、前年と比較すると0.8%増加しています。

この数値は医薬品・診療材料費及び検査委託費で集計しており、医薬品・診療材料費が0.8%増加、検査委託費も、1.2%の増加となっています。

なお、変動費率は、19.7%で、0.1%の微減となっています。

●人件費

2018年全体平均で17,415千円、前年対比3.6%の増加となっています。このことから賃金の改定が継続されていると推測できます。別途集計したデータでは、役員報酬は2018年平均で38,285千円、専従者給与は5,675千円となっています。

●その他固定費

2018年全法人平均で29,389千円となりました。

前年と比較すると、金額で297千円(1.0%)の微増となりました。

5 2018年と過去推移分析の概要

本調査は、2012年から毎年4月に実施し、経営実績レポートとして提供してきました。今回は、はじめに2018年から診療報酬改定年度に合わせ、時系列に遡りその傾向を分析します。本来であれば患者数や患者単価といった原単位に基づき分析すべきですが、各年度の決算書実数値をベースにしていますので、実数値から傾向を分析します。なお、抽出データは無床診療所で、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■要約変動損益計算書 過去実績推移

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
I 医業収入	125,452	123,844	121,652	121,222	103.5%
1. 保険診療収入	106,713	105,917	105,179	105,756	100.9%
2. 保険外診療収入	16,860	15,862	14,437	13,518	124.7%
3. その他の医業収入	1,879	2,065	2,036	1,948	96.5%
II 変動費	24,763	25,536	25,289	24,599	100.7%
1. 医薬品・診療材料費	21,490	22,141	21,700	21,102	101.8%
2. 検査委託費	3,273	3,395	3,589	3,497	93.6%
III 限界利益	100,689	98,308	96,363	96,623	104.2%
IV 医業費用	46,804	46,589	45,514	45,973	101.8%
1. 人件費	17,415	16,340	16,023	17,375	100.2%
2. 減価償却費	5,028	4,972	4,636	4,752	105.8%
3. 地代・家賃	6,593	6,586	6,407	6,750	97.7%
4. 研究研修費	286	389	280	275	104.0%
5. 保険料	3,334	3,347	2,575	2,467	135.1%
6. 接待交際費	1,165	1,358	1,111	1,088	107.1%
7. その他経費	12,983	13,597	14,482	13,266	97.9%
V 医業利益	53,885	51,719	50,849	50,650	106.4%

2 過去推移全体動向

2012年からの実績を時系列にみると、医科診療所の経営実績は、2012年と比較して増収増益となりました。

医業収入は3.5%、うち保険診療収入は0.9%の増加に留まっていますが、自由診療収入が大幅に増加しており、変動費は0.7%の増加となりました。限界利益は4.2%の増加、また医業費用が1.8%の増加となりましたが、結果的に医業利益は6.4%の増加となりました。

医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

2012年対比3.5%増加し、金額にして4,230千円の増収となりました。

保険診療収入は微増ですが、保険外診療収入は大幅に増加しています。

● 変動費

変動費は2012年対比0.7%の増加で、医薬品・診療材料費が同1.8%の増加で、検査委託費が6.4%の減少となりました。

● 医業費用

2012年対比1.8%増加し、役員報酬と専従者給与を除いた人件費は、0.2%の増加に留まっていますが、2014年、2016年に減少した人件費が2018年に増加に転じています。人件費以外の固定費は、2012年対比2.8%の増加となりました。

● 医業利益

2012年から5,000万円台で推移しており、2012年からの6年間で6.4%、金額にして3,235千円の増加という結果でした。

3 医業収入の傾向

診療報酬改定率は次ページのとおりとなっており、いずれもプラス改定となっています。

2010年に民主党政権下で、診療報酬改定が実施され、10年ぶりのネットプラス改定となりました。その流れは2012年にも継承され、1.38%、5,500億円の診療報酬本体の引上げが行われました。また2014年の診療報酬改定は、消費税率引上げに伴う医療機関等の課税仕入れにかかるコスト増への対応分が盛り込まれました。

その後、大幅なアップではありませんが、プラス改定は続いています。

■診療報酬改定率の推移

	2018年	2016年	2014年	2012年
全体改定率	0.55%	0.49%	0.73%	1.38%
医科改定率	0.63%	0.56%	0.82%	1.55%

■医業収入の推移

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
医業収入合計	125,452	123,844	121,652	121,222	103.5%
保険診療収入	106,713	105,917	105,179	105,756	100.9%
保険外診療収入	16,860	15,862	14,437	13,518	124.7%
その他の医業収入	1,879	2,065	2,036	1,948	96.5%

推移状況を見ると、保険診療収入の伸びは0.9%に留まっています。2012年以降、診療報酬改定は全体および医科とも微増傾向にありましたが、住宅医療や認知症に係る項目に厚い評価がなされた一方で、他の項目では伸びが抑制されたことにより、保険収入の上げ幅には診療所によって濃淡が生じました。

2018年は2012年と比較して、金額で4,230千円の増加となっていますが、そのうち自由診療の増加が3,342千円と約8割を占めています。

4 費用の傾向

(1) 医業費用分析

医業費用の推移は、以下のとおりです。

変動費は0.7%の増加となり、人件費は0.2%の増加、その他固定費は2.8%の増加となりました。2014年以降は、消費税が8%にアップしたために、コスト削減に対する意識が高まった時期といえます。2014年の人件費は、役員報酬を含めて抑制傾向にありました。

その後2016年以降は、スタッフの採用が困難になってきたこともあり、人件費は上昇傾向にあります。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
変動費合計	24,763	25,536	25,289	24,599	100.7%
変動费率	19.7%	20.6%	20.8%	20.3%	-0.6%
医薬品・診療材料費	21,490	22,141	21,700	21,102	101.8%
検査委託費	3,273	3,395	3,589	3,497	93.6%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
人件費合計	17,415	16,340	16,023	17,375	100.2%
(参考) 役員報酬	38,285	37,358	36,115	37,742	101.4%
(参考) 専従者給与	5,575	5,045	4,692	4,948	112.7%

③その他固定費

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
その他固定費合計	29,389	30,249	29,491	28,598	102.8%
減価償却費	5,028	4,972	4,636	4,752	105.8%
地代・家賃	6,593	6,586	6,407	6,750	97.7%
研究研修費	286	389	280	275	104.0%
保険料	3,334	3,347	2,575	2,467	135.1%
接待交際費	1,165	1,358	1,111	1,088	107.1%
その他経費	12,983	13,597	14,482	13,266	97.9%

(2) 医業費用の傾向

●変動費

2012年と比較すると0.7%の微増となっています。

内訳は、医薬品・診療材料費が1.8%増加していますが、検査委託費は6.4%減少しています。

なお、変動費率は、19.7%で、2012年から0.6%の増加となっています。

●人件費

2012年と比較すると0.2%の増加と伸びはほとんどありませんが、2014年、2016年と役員報酬や専従者給与を含めて、人件費を低く抑えた傾向が窺えます。その後2018年には上昇傾向となっており、採用に配慮した改定を行っていると思われます。

●その他固定費

2012年との比較では2.8%、金額にして791千円の増加となっています。

地代・家賃は減少傾向、保険料は増加傾向であり、研修費、接待交際費に大きな変化はありませんでした。

2 | 2018年 収入上位診療所の経営実績

1 収入上位診療所の経営実績の概要

第2章で分析した無床診療所352件(医療法人231件、個人開業121件)の決算書より、収入上位20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は70件で、その内訳は医療法人62件、個人開業8件です。

■2018年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
I 医業収入	275,220	280,014	101.7%
1. 保険診療収入	232,102	235,827	101.6%
2. 保険外診療収入	40,476	41,446	102.4%
3. その他の医業収入	2,642	2,741	103.7%
II 変動費	70,020	70,805	101.1%
1. 医薬品・診療材料費	63,350	63,935	100.9%
2. 検査委託費	6,670	6,870	103.0%
III 限界利益	205,200	209,209	102.0%
IV 医業費用	115,584	118,423	102.5%
1. 人件費	57,629	60,263	104.6%
2. 減価償却費	9,989	9,704	97.1%
3. 地代・家賃	11,379	11,546	101.5%
4. 研究研修費	471	472	100.2%
5. 保険料	6,916	7,032	101.7%
6. 接待交際費	2,041	2,021	99.0%
7. その他経費	27,159	27,385	100.8%
V 医業利益	89,616	90,786	101.3%

2 収益性の傾向

2018年診療所全体の経営実績は増収増益でした。黒字診療所の割合は80.0%で、全体の77.3%という数値と比べ、収入上位の方が黒字割合は高いという結果となりました。

医業収入は全診療所データでは0.8%の増収でしたが、収入上位診療所では1.7%の増加となっています。また収入上位の診療所では、保険診療収入、保険外診療収入、その他の医業収入すべてが増加しています。

変動費は前年対比1.1%の増加、限界利益は同2.0%の増加となりました。

医業費用は、人件費が4.6%の増加となっており、その他固定費は0.4%の増加でした。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
限界利益	205,200	209,209	102.0%
医業利益	89,616	90,786	101.3%

医業収入の増加により、限界利益が2.0%増加しました。医業費用も増加しましたが、結果として、医業利益は1.3%の増加となりました。

● 医業収入は前年対比1.7%増加し、金額にして4,794千円の増収となりました。

内訳をみると、保険診療収入が前年対比1.6%増加、保険外診療収入は同2.4%の増加、その他の医業収入は同3.7%の増加となりました。

● 変動費は、前年対比1.1%、金額では785千円の増加となっています。

内訳をみると、医薬品・診療材料費は、前年対比0.9%の増加となり、検査委託費は同3.0%の増加となっています。

● 医業費用は前年対比2.5%、金額では2,839千円の増加となりました。

その内訳では、人件費が前年対比4.6%の増加、その他固定費は同0.4%、金額にして205千円の増加を示しています。

● 医業利益は、前年対比1.3%の増加、金額にして1,170千円の増加となっています。

3 医業収入の傾向

(1) 医業収入前年対比較

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入合計	275,220	280,014	101.7%
保険診療収入	232,102	235,827	101.6%
保険外診療収入	40,476	41,446	102.4%
その他医業収入	2,642	2,741	103.7%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位20%)

- 医業収入は280,014千円で、前年に比べ4,794千円(前年対比1.7%)の増収となりました。
- 医業収入の内訳は、保険診療収入が235,827千円(前年対比1.6%)となり、保険外診療収入は41,446千円(同2.4%)と増加、その他医業収入も2,741千円(同3.7%)と増加しています。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比較

医業費用の実績は下記のとおりです。変動費は前年対比1.1%の増加となり、人件費は同4.6%増加しました。

一方、その他固定費は同0.4%の微増となっています。

① 変動費 (医薬品・診療材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
変動費合計	70,020	70,805	101.1%
変動費率	25.4%	25.3%	△0.1%
医薬品・診療材料費	63,350	63,935	100.9%
検査委託費	6,670	6,870	103.0%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
人件費合計	57,629	60,263	104.6%
(参考) 役員報酬	62,028	63,183	101.9%
(参考) 専従者給与	6,544	6,534	99.8%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
その他固定費合計	57,955	58,160	100.4%
減価償却費	9,989	9,704	97.1%
地代・家賃	11,379	11,546	101.5%
研究研修費	471	472	100.2%
保険料	6,916	7,032	101.7%
接待交際費	2,041	2,021	99.0%
その他経費	27,159	27,385	100.8%

(2) 医業費用の傾向

●変動費

2018年収入上位平均では、70,805千円（前年対比1.1%増）となりました。

医薬品・診療材料費は585千円（前年対比0.9%）増加し、検査委託費は200千円（前年対比3.0%）増加となりました。

●人件費

2018年収入上位平均で、60,263千円（役員報酬を除く、前年対比4.6%増）となりました。

役員報酬の平均は、2018年収入上位で63,183千円（前年対比1.9%増）となっています。

また、専従者給与の平均額は6,534千円（前年対比0.2%減）となっています。

●その他固定費

その他固定費の合計は58,160千円で、205千円の増加（前年対比0.4%増）となりました。

3 | 2018年 診療科目別経営実績

1 診療科目別経営実績の概要

本分析で抽出したデータは、無床診療所 352 件（医療法人 231 件、個人開業 121 件）の決算データから診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科で、第 1 章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

また、参考として、各診療科目上位 20% のデータを記載しています。

■各データのサンプル数

●内科	133 件	（医療法人	88 件、個人開業	45 件）
●小児科	30 件	（医療法人	22 件、個人開業	8 件）
●心療内科	17 件	（医療法人	10 件、個人開業	7 件）
●整形外科	35 件	（医療法人	29 件、個人開業	6 件）
●皮膚科	24 件	（医療法人	14 件、個人開業	10 件）
●耳鼻咽喉科	24 件	（医療法人	17 件、個人開業	7 件）
●眼科	14 件	（医療法人	10 件、個人開業	4 件）

個別データは、次ページ以降に紹介しています。診療科目別に集計した主要科目別数値は下記のとおりです。

■2018年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科
医業収入	109,918	115,267	121,095	144,378	85,820	81,155	140,636
変動費	20,969	28,794	11,402	20,682	6,019	4,763	33,267
限界利益	88,949	86,473	109,693	123,696	79,801	76,392	107,369
医業費用	41,517	33,182	41,958	75,789	37,796	33,043	42,018
うち人件費	14,736	9,710	9,928	35,906	12,210	10,925	12,347
医業利益	47,432	53,291	67,735	47,907	42,005	43,349	65,351
参考：役員報酬	33,250	40,884	48,896	40,285	35,716	29,779	40,331

2 診療科目別経営実績結果

(1) 内科診療所

内科等を標榜している診療所の集計データの内訳は、一般内科110件、循環器内科13件、消化器内科6件、呼吸器内科3件、その他1件の計133件です。

内科診療所は、増収増益を示し、医業収入は2.2%の増加で、変動費は1.7%の増加、医業費用は3.6%増加、結果として医業利益は1.3%増加して47,432千円となりました。

なお、役員報酬は、2018年平均で33,250千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	107,521	109,918	102.2%	245,174
1. 保険診療収入	95,684	97,107	101.5%	217,679
2. 保険外診療収入	10,297	11,344	110.2%	24,144
3. その他の医業収入	1,540	1,467	95.3%	3,351
II 変動費	20,621	20,969	101.7%	60,857
1. 医薬品・診療材料費	16,412	16,775	102.2%	52,594
2. 検査委託費	4,209	4,194	99.6%	8,263
III 限界利益	86,900	88,949	102.4%	184,317
IV 医業費用	40,085	41,517	103.6%	113,116
1. 人件費	14,540	14,736	101.3%	60,622
2. 減価償却費	4,609	4,510	97.9%	7,806
3. 地代・家賃	5,543	5,529	99.7%	9,681
4. 研究研修費	273	268	98.2%	422
5. 保険料	2,959	2,948	99.6%	6,339
6. 接待交際費	934	1,006	107.7%	1,437
7. その他経費	11,227	12,520	111.5%	26,809
V 医業利益	46,815	47,432	101.3%	71,201

(2)小児科診療所

小児科診療所は減収減益となり、保険診療収入は0.6%減少しました。

変動費は3.6%減少、医業費用は5.4%増加、結果として医業利益は4.1%減少し、53,291千円となっています。

役員報酬は、2018年平均で40,884千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	116,899	115,267	98.6%	197,110
1. 保険診療収入	71,474	71,054	99.4%	117,330
2. 保険外診療収入	38,560	37,271	96.7%	71,846
3. その他の医業収入	6,865	6,942	101.1%	7,934
II 変動費	29,868	28,794	96.4%	44,949
1. 医薬品・診療材料費	27,664	26,745	96.7%	41,185
2. 検査委託費	2,204	2,049	93.0%	3,764
III 限界利益	87,031	86,473	99.4%	152,161
IV 医業費用	31,483	33,182	105.4%	63,599
1. 人件費	8,781	9,710	110.6%	24,069
2. 減価償却費	3,294	3,324	100.9%	5,983
3. 地代・家賃	5,730	5,989	104.5%	7,509
4. 研究研修費	428	379	88.6%	949
5. 保険料	2,253	2,343	104.0%	3,589
6. 接待交際費	1,206	1,225	101.6%	1,776
7. その他経費	9,791	10,212	104.3%	19,724
V 医業利益	55,548	53,291	95.9%	88,562

(3)心療内科診療所

心療内科診療所は、増収増益となりました。

医業収入は、前年対比 5.0%の増加、変動費は 4.1%の増加、医業費用も 11.7%の増加となり、医業利益は前年対比 1.4%の増加となりました。

役員報酬は、2018年平均で 48,896 千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位 20%
I 医業収入	115,331	121,095	105.0%	258,548
1. 保険診療収入	110,106	115,502	104.9%	252,671
2. 保険外診療収入	3,178	3,611	113.6%	5,243
3. その他の医業収入	2,047	1,982	96.8%	634
II 変動費	10,957	11,402	104.1%	37,801
1. 医薬品・診療材料費	8,749	9,014	103.0%	33,277
2. 検査委託費	2,208	2,388	108.2%	4,524
III 限界利益	104,374	109,693	105.1%	220,747
IV 医業費用	37,558	41,958	111.7%	147,797
1. 人件費	9,572	9,928	103.7%	85,274
2. 減価償却費	3,417	3,725	109.0%	5,949
3. 地代・家賃	7,732	8,042	104.0%	20,802
4. 研究研修費	375	413	110.1%	1,244
5. 保険料	3,764	5,185	137.8%	12,622
6. 接待交際費	984	905	92.0%	2,219
7. その他経費	11,714	13,760	117.5%	19,687
V 医業利益	66,816	67,735	101.4%	72,950

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所は増収減益となり、医業収入は1.7%の増加を示しました。

変動費は4.3%の増加、医業費用は3.8%増加、結果として医業利益は2.5%、金額にして1,245千円の減少となりました。

役員報酬は、2018年平均で40,285千円となっています。

■2019年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	141,997	144,378	101.7%	270,388
1. 保険診療収入	125,586	128,262	102.1%	250,524
2. 保険外診療収入	15,409	15,109	98.1%	18,897
3. その他の医業収入	1,002	1,007	100.5%	967
II 変動費	19,829	20,682	104.3%	40,272
1. 医薬品・診療材料費	17,787	18,414	103.5%	35,085
2. 検査委託費	2,042	2,268	111.1%	5,187
III 限界利益	122,168	123,696	101.3%	230,116
IV 医業費用	73,016	75,789	103.8%	155,174
1. 人件費	35,210	35,906	102.0%	82,643
2. 減価償却費	5,583	5,925	106.1%	7,467
3. 地代・家賃	8,951	9,173	102.5%	15,806
4. 研究研修費	303	315	104.0%	487
5. 保険料	4,073	4,467	109.7%	9,818
6. 接待交際費	1,658	1,530	92.3%	2,642
7. その他経費	17,238	18,473	107.2%	36,311
V 医業利益	49,152	47,907	97.5%	74,942

(5)皮膚科診療所

皮膚科診療所は増収減益となりました。医業収入は前年対比0.8%の増加となりました。変動費は0.9%の増加、医業費用は5.8%の増加となり、結果として医業利益は前年対比3.4%の減少となりました。

役員報酬は、2019年平均で35,716千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	85,179	85,820	100.8%	131,031
1. 保険診療収入	74,007	72,624	98.1%	110,459
2. 保険外診療収入	9,828	11,922	121.3%	19,265
3. その他の医業収入	1,344	1,274	94.8%	1,307
II 変動費	5,964	6,019	100.9%	9,555
1. 医薬品・診療材料費	4,996	5,039	100.9%	8,123
2. 検査委託費	968	980	101.2%	1,432
III 限界利益	79,215	79,801	100.7%	121,476
IV 医業費用	35,715	37,796	105.8%	72,058
1. 人件費	11,353	12,210	107.5%	36,463
2. 減価償却費	3,589	4,069	113.4%	6,070
3. 地代・家賃	6,360	6,242	98.1%	5,862
4. 研究研修費	235	264	112.3%	187
5. 保険料	2,880	3,147	109.3%	7,380
6. 接待交際費	973	1,092	112.2%	1,941
7. その他経費	10,325	10,772	104.3%	14,155
V 医業利益	43,500	42,005	96.6%	49,418

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科診療所は減収減益となり、医業収入は、1.8%の減少を示しています。

変動費は0.2%の減少、医業費用は0.8%の減少、結果として、医業利益は2.8%、金額にして1,227千円の減少となりました。

役員報酬は、2018年平均で29,779千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	82,668	81,155	98.2%	127,050
1. 保険診療収入	80,933	79,545	98.3%	124,195
2. 保険外診療収入	897	837	93.3%	1,425
3. その他の医業収入	838	773	92.2%	1,430
II 変動費	4,774	4,763	99.8%	6,896
1. 医薬品・診療材料費	3,245	3,212	99.0%	3,912
2. 検査委託費	1,529	1,551	101.4%	2,984
III 限界利益	77,894	76,392	98.1%	120,154
IV 医業費用	33,318	33,043	99.2%	52,710
1. 人件費	10,380	10,925	105.3%	22,240
2. 減価償却費	4,101	3,687	89.9%	5,527
3. 地代・家賃	6,643	6,922	104.2%	10,313
4. 研究研修費	164	151	92.1%	224
5. 保険料	2,701	2,691	99.6%	4,173
6. 接待交際費	889	849	95.5%	538
7. その他経費	8,440	7,818	92.6%	9,695
V 医業利益	44,576	43,349	97.2%	67,444

(7)眼科診療所

眼科診療所は減収増益で、医業収入は前年対比0.3%の減少となりました。

変動費は3.4%減少し、医業費用は1.7%増加、結果として医業利益は0.1%、金額にして82千円の微増となっています。

役員報酬は、2018年平均で40,331千円となっています。

■2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年		
		全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	141,017	140,636	99.7%	264,785
1. 保険診療収入	139,573	139,319	99.8%	262,555
2. 保険外診療収入	961	903	94.0%	1,532
3. その他の医業収入	483	414	85.7%	698
II 変動費	34,429	33,267	96.6%	87,324
1. 医薬品・診療材料費	33,504	32,460	96.9%	85,859
2. 検査委託費	925	807	87.2%	1,465
III 限界利益	106,588	107,369	100.7%	177,461
IV 医業費用	41,319	42,018	101.7%	71,334
1. 人件費	11,275	12,347	109.5%	29,321
2. 減価償却費	8,481	7,960	93.9%	11,766
3. 地代・家賃	6,138	6,120	99.7%	7,193
4. 研究研修費	281	495	176.2%	478
5. 保険料	2,167	2,134	98.5%	3,359
6. 接待交際費	1,257	1,223	97.3%	1,683
7. その他経費	11,720	11,739	100.2%	17,534
V 医業利益	65,269	65,351	100.1%	106,127

4 | 2018年 医療法人経営指標分析結果

1 2018年医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人立無床診療所の231件を対象として、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。

分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で行っています。

■2018年 比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2017年	2018年		2017年	2018年
【流動資産】	73,758	75,417	【流動負債】	15,888	15,788
現金・預金	47,822	49,578	買掛金	3,693	3,734
医業未収金	19,074	19,231	その他	12,195	12,054
その他	6,862	6,608			
【固定資産】	69,348	72,421	【固定負債】	25,521	23,657
《有形固定資産》	32,656	32,693	長期借入金	18,587	17,126
医療用機器備品	4,440	3,225	その他	6,934	6,531
工具器具備品	3,087	3,004	負債合計	41,409	39,445
その他	25,129	26,464	純資産の部		
《無形固定資産》	6,408	7,754		2017年	2018年
ソフトウェア	339	507	【出資金】	8,611	8,525
その他	6,069	7,247	【利益剰余金等】	93,086	99,868
《その他の資産》	30,284	31,974			
保険積立金	27,064	29,487	純資産合計	101,697	108,393
その他	3,220	2,487			
資産合計	143,106	147,838	負債・純資産合計	143,106	147,838

経営分析に必要となる主要損益数値は次のとおりです。なお役員及び職員数については平均値を算出し、役員3名、職員数10名の計13名で計算しています。

■2018年比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入計	139,190	140,588	101.0%
限界利益	114,045	114,933	100.8%
給与費計	72,218	73,689	102.0%
医業利益	7,381	7,399	100.2%
経常利益	8,384	8,391	100.1%

2 収益性分析 前年対比

		2017年	2018年	増減
収益性	総資本経常利益率	6.0%	5.7%	-0.3%
	医業収入医業利益率	5.3%	5.3%	0.0%
	医業収入経常利益率	6.0%	6.0%	—
	総資本回転率	0.97回	0.95回	-0.2回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

2018年の実績は5.7%で、前年より0.3%減少していますが、医療法人立診療所の経営効率は安定しています。

●医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

医業収入医業利益率・医業収入経常利益率ともに、前年並みの実績となっています。

●総資本回転率

総資本回転率は前年実績とほぼ同水準であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 生産性分析 前年対比

		2017年	2018年	増減
生産性	限界利益率	81.9%	81.8%	-0.1%
	1人当たり医業収入/月	892千円	901千円	9千円
	1人当たり限界利益/月	731千円	737千円	6千円
	1人当たり人件費/月	463千円	472千円	9千円
	労働分配率	63.3%	64.1%	0.8%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	(医業収入 ÷ 職員数) ÷ 12ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	(限界利益 ÷ 職員数) ÷ 12ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費(社会保険料等の事業所負担も含めたもの)を見る	(総額人件費 ÷ 職員数) ÷ 12ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100

■生産性分析コメント

●限界利益率

前年よりも数値が0.1%の減少となっています。

●一人当たり医業収入・一人当たり限界利益・一人当たり人件費

一人当たり医業収入、一人当たり限界利益、一人当たり人件費は、いずれも前年度より、微増となりました。

●労働分配率

労働分配率は、前年63.3%に対し、2018年は64.1%となり、0.8%増加しています。

4 安全性分析 前年対比

		2017年	2018年	増減
安全性	流動比率	464.2%	477.7%	13.5%
	当座比率	421.0%	435.8%	14.8%
	固定比率	68.2%	66.8%	-1.4%
	固定長期適合率	54.5%	54.8%	0.3%
	自己資本比率	71.1%	73.3%	2.2%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産 ÷ 流動負債 × 100
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産 ÷ 流動負債 × 100
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ 自己資本 × 100
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る	自己資本 ÷ 総資産 × 100

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は前年から13.5%増加しており、引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。当座比率も、14.8%増加し、換金可能な資産による債務返済能力は高い水準を維持しています。

●固定比率

1.4%の減少となっています。

●固定長期適合率

0.3%増加となっています。

●自己資本比率

73.3%と高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

5 成長性分析 前年対比

		2017年	2018年
成長性	医業収入増加率	△0.2%	1.0%
	限界利益増加率	0.3%	0.8%
	医業利益増加率	△1.1%	0.2%
	経常利益増加率	△1.2%	0.1%
	自己資本増加率	6.2%	6.6%

■成長性分析コメント

成長性は、2018年4月に診療報酬改定があり、医科は+0.63%の改定率で医業収入がプラスに転じ、限界利益は増加しました。人件費等の増加により、医業利益、経常利益はともに若干のプラスとなりました。